

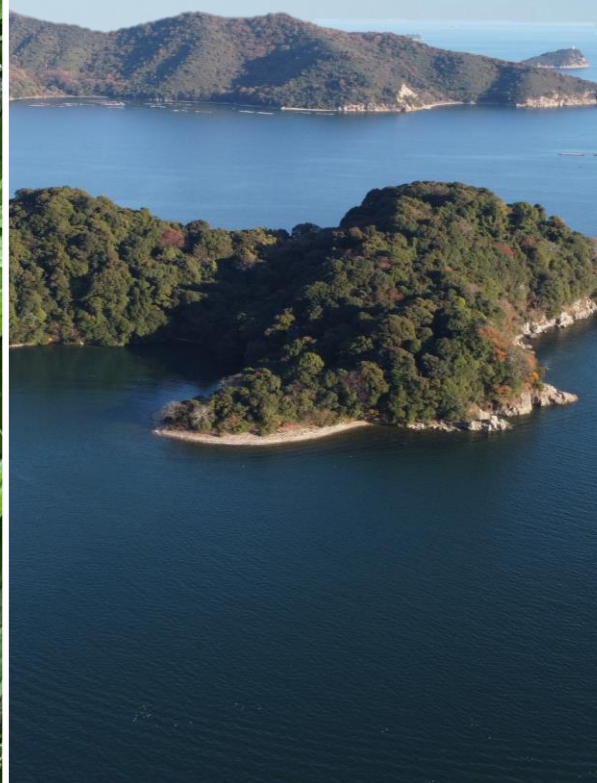


循環型社会へのチャレンジ

C S R 報 告 書

2021

株式会社 横山サポートテック



当社では、3Rという行動指針を掲げ、
リサイクルへの取り組みを行っています。



Contents

■ トップメッセージ	03
■ 会社沿革	04
■ 会社概要	05
■ 事業内容・許可一覧	06
■ 環境マネジメント	07
■ 環境へのかかわり	09
■ 安全への取り組み	13
■ 地域とのかかわり	15
■ 従業員のかわり	17
■ 新しい取り組み	19
■ 環境への取り組み—SDGs—	20



LEVEL UP! 信用を積み上げ、信頼を勝ち取ろう。 お客様はもちろん、仲間からも頼られる存在になれ。



代表取締役 横山 淳平

昨年は新型コロナウイルス感染症が世界中を混乱させ、現在もなお、厳しい状態が続いております。皆様方においても大変な日々を過ごされていることと存じます。

エッセンシャルワークである弊社においても、社員の毎日の検温、事務所内の間仕切り、手指消毒液の設置、定期的な空気の入替や所内の消毒作業等、考えられる新型コロナウイルス感染症対策を行っております。この「CSR報告書2021」が発刊される頃には、収束の兆しが少しでも見えていればと切に願います。

さて、この業界では近年「廃棄物＝不要物」から、「廃棄物＝循環資源」へと見方が変わりつつあります。世界は脱炭素化に大きく舵を切り、昨年はずいぶん日本もカーボンニュートラルのゴールを2050年と決めました。私達も社業を通じ、必ずやお役に立てることがあると確信しています。その為には、これまで行ってきた行動を「CSR報告書」という形で表すことも、見つめ直す手段の一つと考えています。

本年度は「LEVEL UP! 信用を積み上げ、信頼を勝ち取ろう。お客様はもちろん、仲間からも頼られる存在になれ。」とスローガンを掲げました。

事業を継続する上で大切なのは「信用」と「信頼」です。「信用」とはこれまでの私達の行動の評価から成り立っています。それに対し、「信頼」はそうした過去の実績、あるいは私達の立ち居振る舞いから、「この人なら、この会社なら大丈夫」とその未来の行動を信じて、期待されて得られるものだと思います。お互いの気持ちと気持ちのつながりだと考えています。

1959年創業より62年、皆様のおかげで「信用」をコツコツと積み上げてこられたと感謝しています。お客様や、地域の皆様から頂いた「信頼」を自信に、少しでもお役に立てるようにと、社員一同切磋琢磨しております。

役に立てる喜びが私達の未来への活力です。これからも是非ご期待下さい。

弊社が「CSR報告書」を発行するのは今回で3回目となります。すべて社内での手作りによるものですが、手前味噌ではございますが、本当によくまとまっており、担当してくれている管理課のメンバーには感謝しております。この報告書を手にとりて頂いた皆様には、是非とも最後まで目を通して頂ければ幸いです。

どうぞよろしくお願い致します。

横山サポートテックの歩みにはいくつかのターニングポイントがあります。お客様のお役に立ちたい一心で、これまでやってきました。今後も、ステークホルダーの皆様のお役に立てるよう、様々な環境問題に向かって歩んでいきます。

1966



有限会社横山商店を設立

創業者横山倉一が1959年製紙製鋼原料業を開始。1966年有限会社横山商店を設立。1973年、横山正明代表取締役就任。その後、38年間社会がめまぐるしく変わる中、様々なチャレンジをしてきました。

現在、従業員数は50人(2021年2月現在)、工場敷地面積は13,315㎡

1977-1996



兵庫県産業廃棄物処理業(収集運搬)許可取得

産業廃棄物業開始。以後、岡山県・山口県・広島県・三重県・大阪府・島根県・鳥取県・香川県の産業廃棄物処理業(収集運搬)許可取得

兵庫県産業廃棄物処理業(中間処理(破碎))許可取得

赤穂市一般廃棄物処理業(中間処理(破碎))許可取得

有限会社横山商店から有限会社横山サポートテックへ社名変更

1999-2001



ISO14001認証取得

自ら定めた環境方針の下環境パフォーマンスを向上し、遵守義務を満たし、環境目標を達成するために、従業員一同一丸となって取り組んできました。現在も継続して取り組んでおります。

資本金増資 組織変更し株式会社横山サポートテックへ

2005-2011



テント倉庫(東側)完成

新事務所所在地(中広1370番地1)へ移転

破碎施設のリニューアル(剪断式破碎機の導入)

デジタルタコグラフ導入

NPO法人エコキャップ推進協会に登録

横山淳平代表取締役就任

横山正明取締役会長就任

2013-2015



計量証明事業登録

倉庫業登録

太陽光発電システム導入。今年で8年目です。

(株)中国銀行「エコ私募債」第1回発行

廃家電の積替え・保管許可取得(兵庫県)

微量PCB収集運搬業許可取得(岡山県)

微量PCB収集運搬業許可取得(兵庫県)

2017-2020



テント倉庫(西側)完成

作業効率も向上しました。工場内の動線をより効率よくなるよう、日々改善しております。

(株)中国銀行「BCP支援私募債」第2回発行

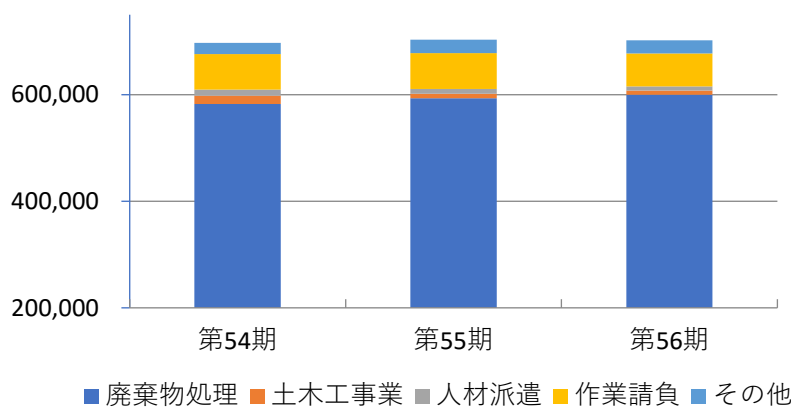
ロジこんぱす導入

業務の自動化により運行管理者の作業効率を向上させ、より効果的な安全運転管理・労務管理を実現しています

名称	・株式会社横山サポートテック
代表者	・横山淳平
所在地	・兵庫県赤穂市中広1370番地の1 ・TEL 0791-43-5328 FAX 0791-43-6568
創業	・昭和34年12月
設立	・昭和41年3月
資本金	・1,000万円
従業員数	・50名
取引銀行	・中国銀行赤穂支店 ・みなと銀行赤穂支店 ・トマト銀行赤穂支店
加入団体	・(一社)兵庫県産業資源循環協会 (一社)岡山県産業廃棄物協会 ・(一社)兵庫県解体工事業協会 (一社)兵庫県トラック協会 ・古物商防犯組合
ホームページ	・ http://www.yst21.co.jp
メール	・ info@yst21.co.jp

(単位：千円)

売上高



事業内容

産業廃棄物処理業

一般廃棄物処理業

資源リサイクル業

土木工事業

労働者派遣事業

保有設備



破砕機

(処理能力)
 廃プラ 4.7t/日
 がれき 21.1t/日
 木くず 7.8t/日



ペーラー機

(処理能力)
 廃プラ 37.1t/日
 紙くず 89.6t/日



スチロールポスト

(処理能力)
 0.186t/日

許可一覧

産業廃棄物
処分量

・【中間処理】 兵庫県

産業廃棄物
収集運搬業

・【普通】 兵庫県 岡山県 広島県 大阪府 三重県 島根県 山口県 鳥取県 香川県 京都府
 ・【特管】 兵庫県 岡山県 広島県 大阪府 三重県 鳥取県 京都府
 ・【積替え保管品目】 廃家電 廃プラスチック類 水銀使用製品産業廃棄物

一般廃棄物

・【処分量】 赤穂市
 ・【収集運搬業】 赤穂市 相生市 上郡町

その他

・一般建設業(解体工事業) 労働者派遣業 倉庫業 計量証明事業 一般貨物自動車運送業
 ・古紙再生業 古物商 金属くず商

※産業廃棄物処理業の許可について、新規取得の鳥取県(特管)及び京都府(普通・特管)以外は、優良認定を受けております。



環境方針

横山サポートテックは、風光明媚な瀬戸内海を南に望み、兵庫県随一の清流である千種川のほとりに位置しており、この豊かな環境の保全に努める事を重要課題としています。

私達は廃棄物の収集運搬、中間処理の業務を行うに当り、社会的責任を認識し、地域への貢献を通じて、地球及び地域環境の保全に取り組みます。

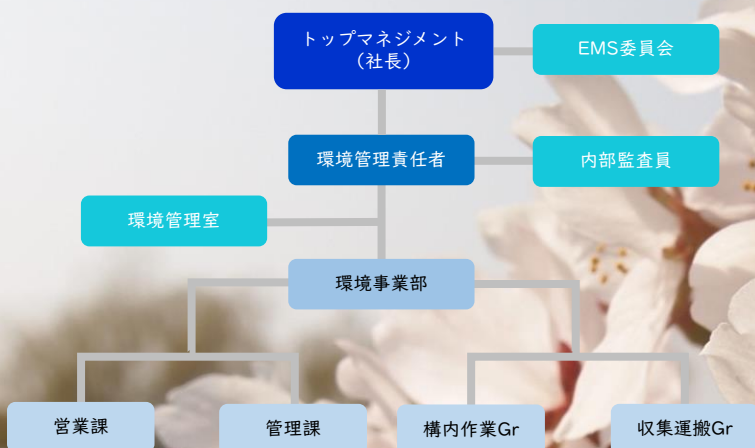
1. 豊かな自然との共生を求め環境に配慮した日常生活と、廃棄物処理業を持続するため、環境関連の法律、条例、協定及び業界の要求事項を明確にし、環境目的、目標、プログラムを定め定期的に見直し、環境保全活動の継続的な改善を図ります。
2. 廃棄物を適正に処理、リサイクルするため、「法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項」を順守するにとどまらず、自主基準を制定し一層の環境保全に取り組みます。
3. 排出事業者様に最適なりサイクル方法を提案することはもちろん、徹底した廃棄物の分別を行う事により、資源リサイクル率を向上させ、火災・震災などの緊急事態が発生した場合も含め、環境に与える影響を可能な限り抑制し、環境保全と汚染の予防に取り組みます。
4. 地域の人や環境との調和を目指し、全従業員が地域社会における環境美化の促進に努めます。

平成25年2月21日
株式会社横山サポートテック
代表取締役 横山 淳平

環境マネジメント推進体制

当社では「環境方針」に基づいて、環境側面を決定し「環境目標」を策定しています。その目標に対して、各課・Grでは「環境マネジメント実施計画」の策定を行い、その活動報告を「EMS委員会」にて議論し、評価を行い目標達成に向けて活動を行っています。

環境マネジメント組織図



【適用範囲】

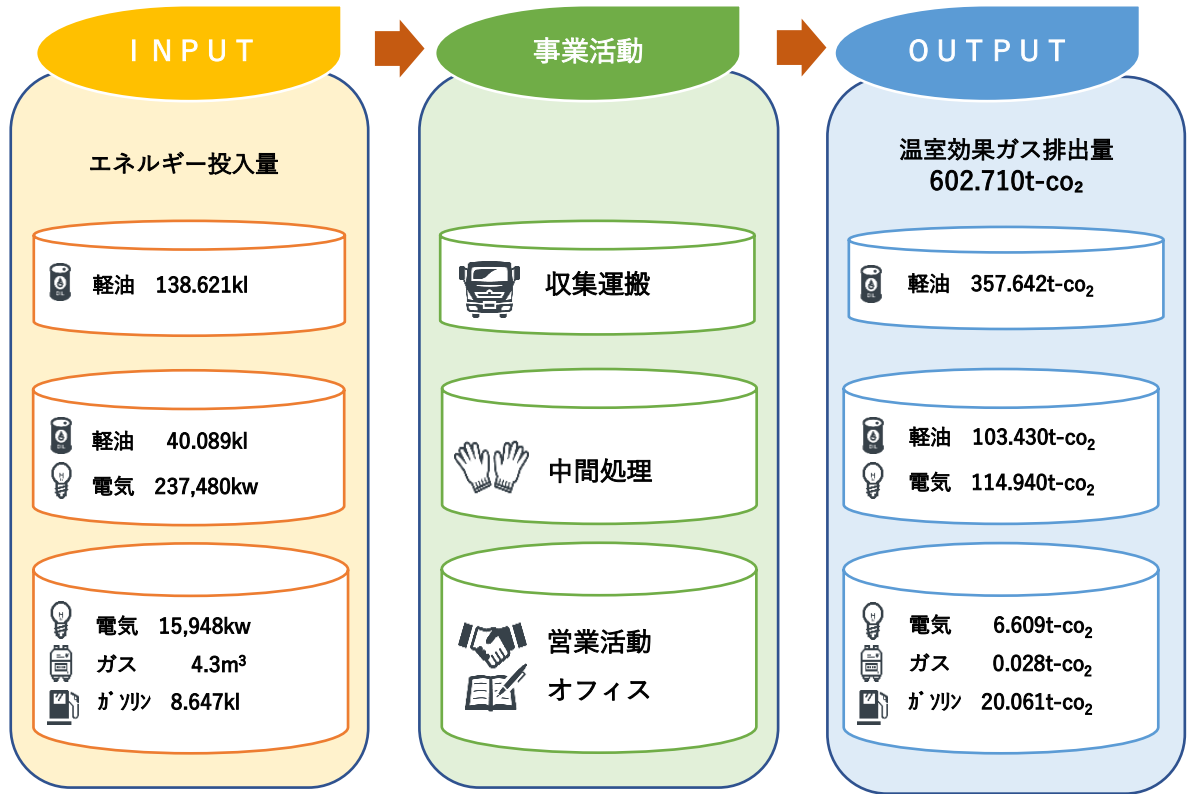
環境事業部の事業活動である廃棄物処理業
 ・特別管理産業廃棄物収集運搬
 ・産業廃棄物収集運搬及び中間処理（破碎・減容・圧縮）
 ・一般廃棄物収集運搬及び中間処理（破碎・減容・圧縮）
 ・資源リサイクル等に関連する諸活動に適用する

環境マネジメント実施結果

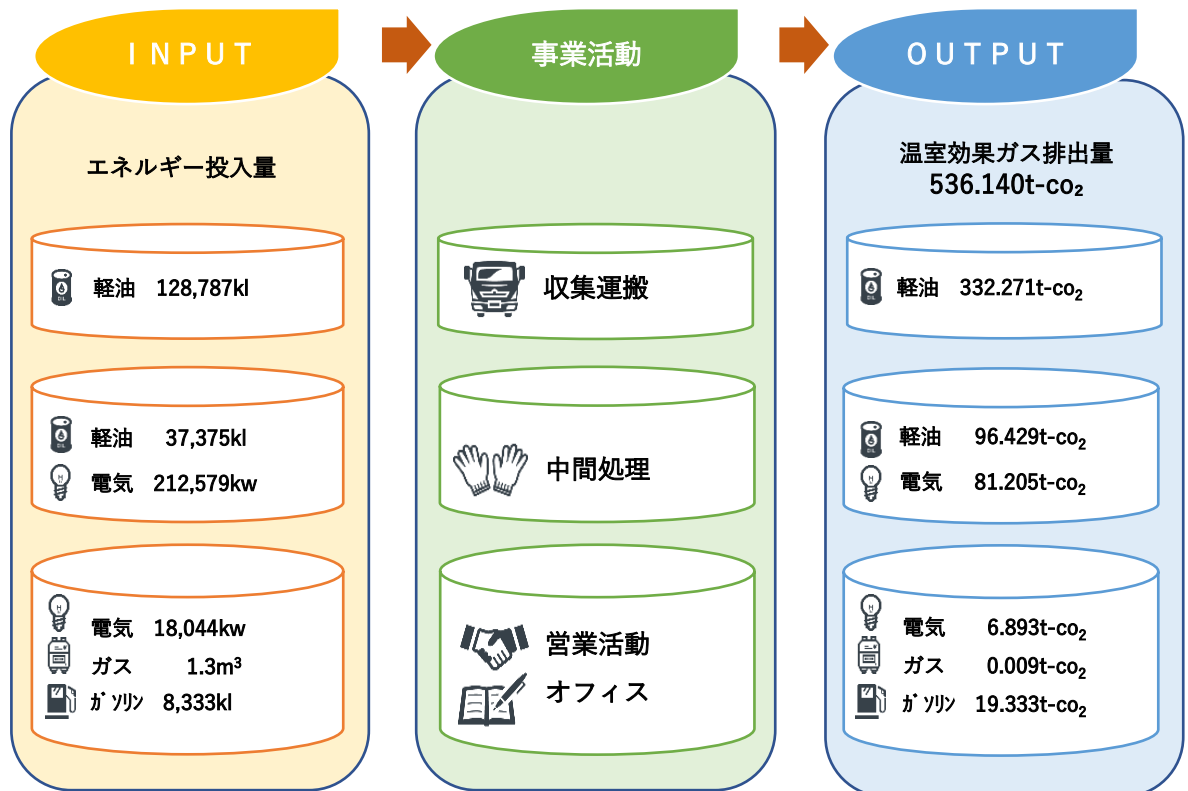
年度	各課・Gr	目 標	実施結果	次年度以降の対応
2019	収集運搬Gr	業務改善を実施し、収集運搬効率を上げる（年間12件以上の改善）	目標達成 累計15件完了し達成	今後も管理していく
	構内作業Gr	構内在庫量の適正な維持管理（1ヶ月を平均して自主基準量を超えない）	未達成 木くず・剪定くずの在庫量が基準値を超えた	今後も管理していく
	営業課	排出事業者様への提案により、取扱量（収集運搬含む）を前年対比1%UPする	未達成 100%	今後も管理していく
	管理課	会社PR活動を行い、PR活動に伴う新規問い合わせ件数を年間60件以上とする	目標達成 73件	2020年度も取り組んでいく
2020	収集運搬Gr	運転手毎の時間差を10%以内にし、収集運搬時間を短縮する	目標達成 （4事業所7品目について）	今後も管理していく
	構内作業Gr	フォークリフト・ホイールロードの時間当りの取扱量を前年比103%にする	目標達成 110.3%	今後も管理していく
	営業課	粗大廃棄物（個人宅）の引取り量を前年比110%にする（廃家電を含む）	目標達成 155.8%	2021年度も取り組んでいく
	管理課	会社PR活動に伴う新規問い合わせ件数を年間100件以上とする	目標達成 131件	2021年度も取り組んでいく

マテリアルバランス

《2019.3月～2020.2月実績》

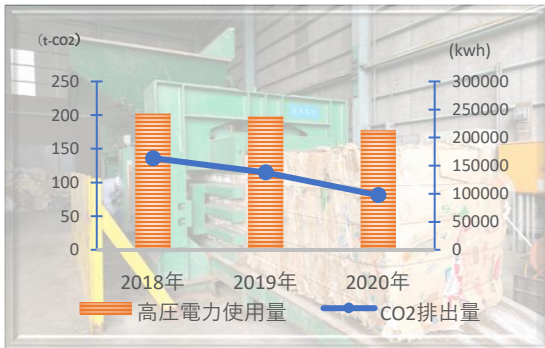


《2020.3月～2021.2月実績》

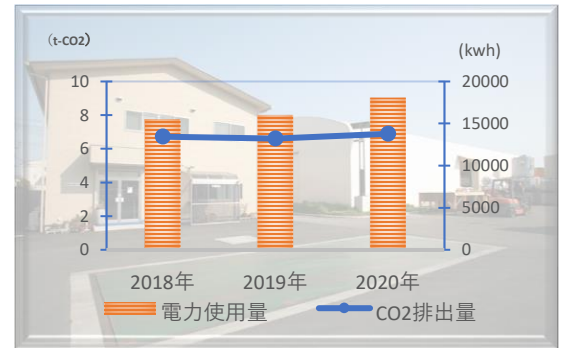


環境パフォーマンスデータ

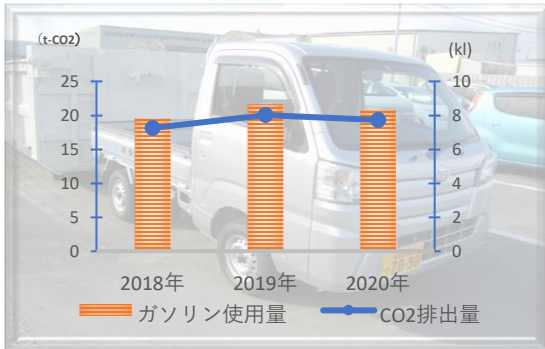
● 高圧電力使用量



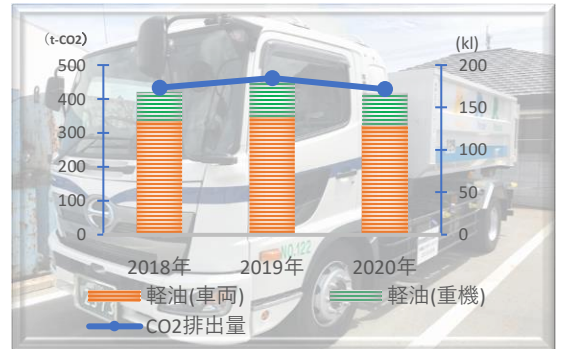
● 電力使用量



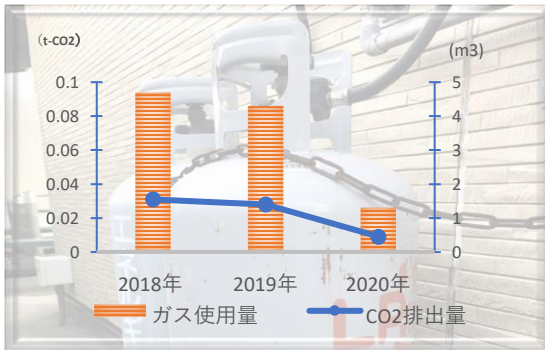
● ガソリン使用量



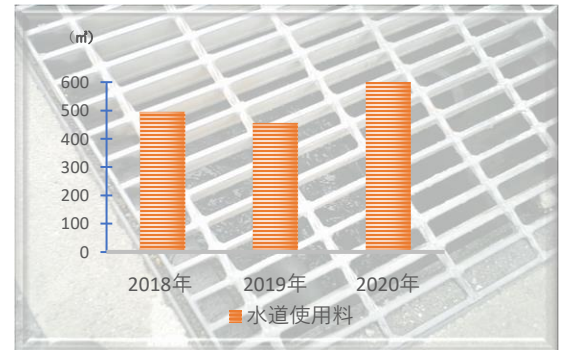
● 軽油使用量



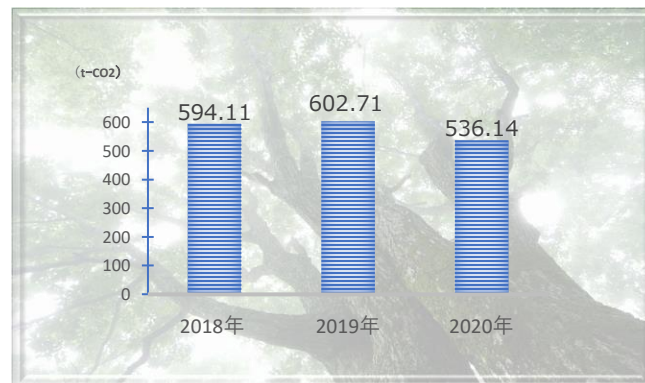
● ガス使用量



● 水道使用量



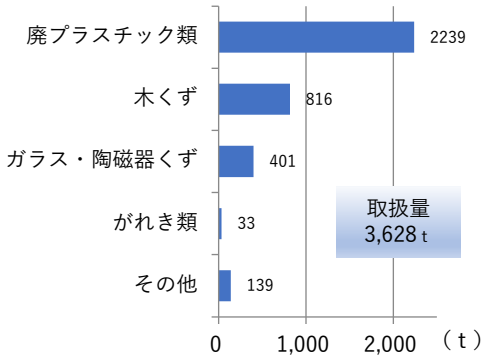
● CO2排出量



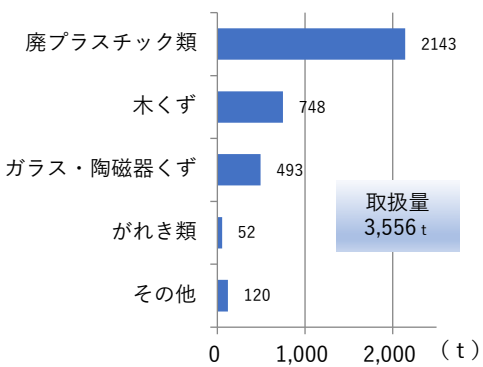
廃棄物取扱量

中間処理量

(2019年度)

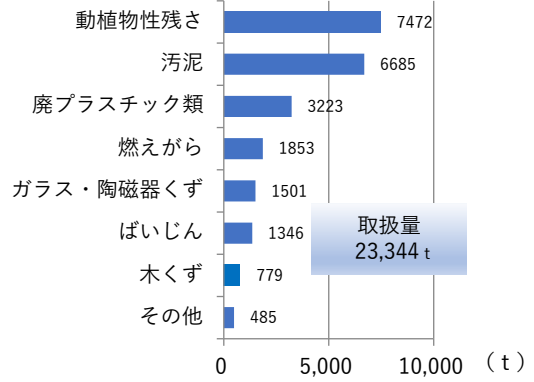


(2020年度)

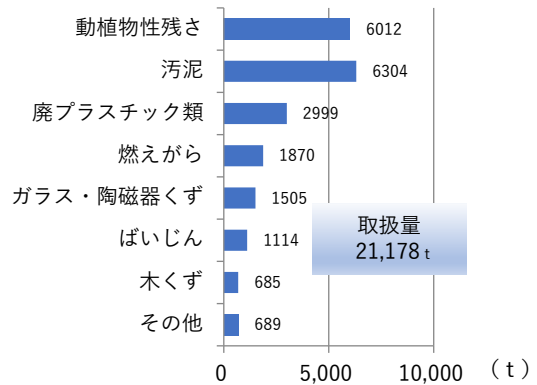


収集運搬量

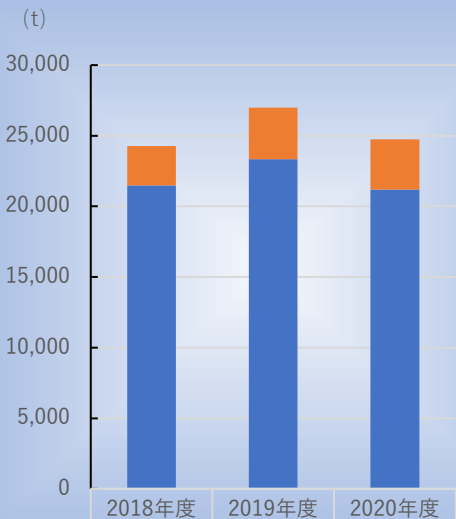
(2019年度)



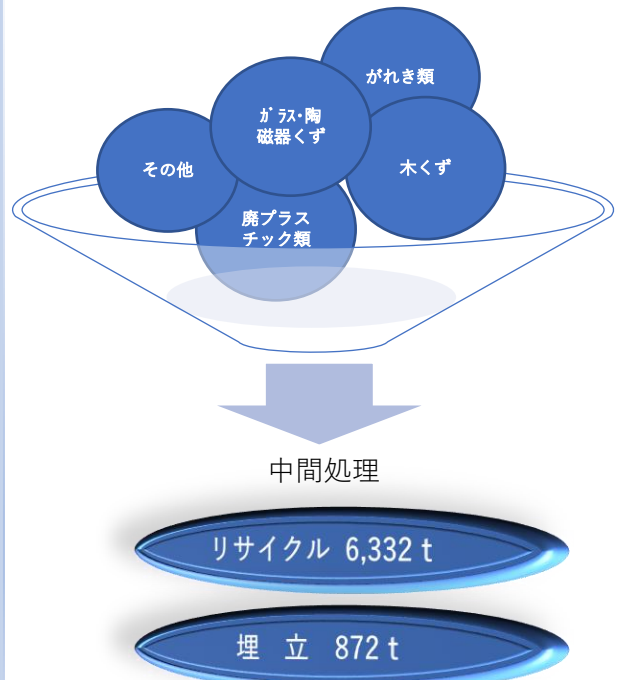
(2020年度)



産業廃棄物取扱量実績



■ 処分量	2,792	3,628	3,556
■ 収集運搬量	21,475	23,344	21,178



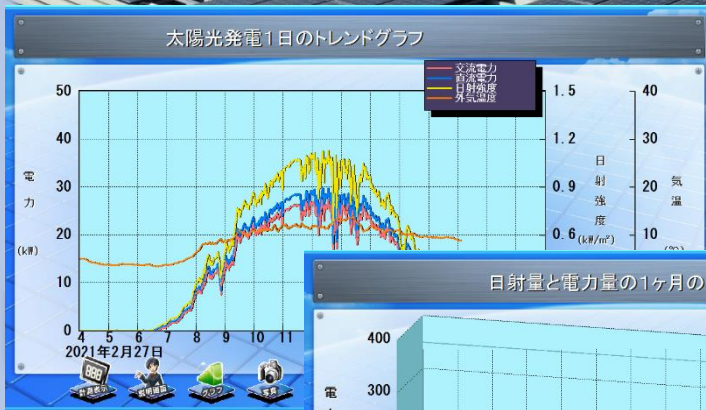
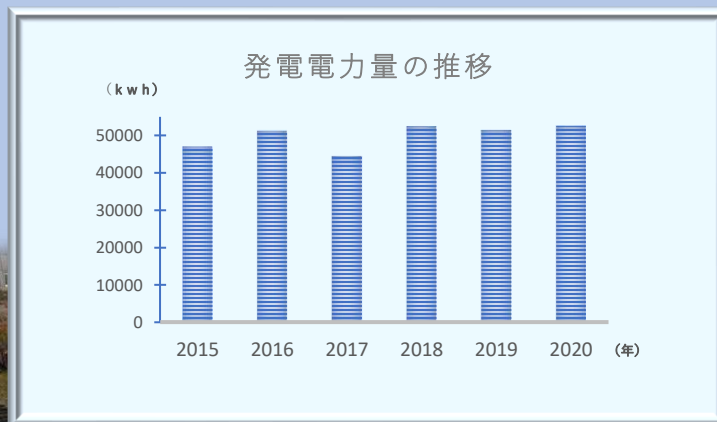
※2019.3月～2021.2月

再生可能エネルギー

本社工場建屋屋上に太陽光発電装置を設置し、環境負荷低減の取り組みを行っています。

年間平均、約49,770.9kwhを発電しています。

赤穂市は瀬戸内海式気候で、温暖で雨量が少ない気候といわれており、持続的な発電が可能となります。



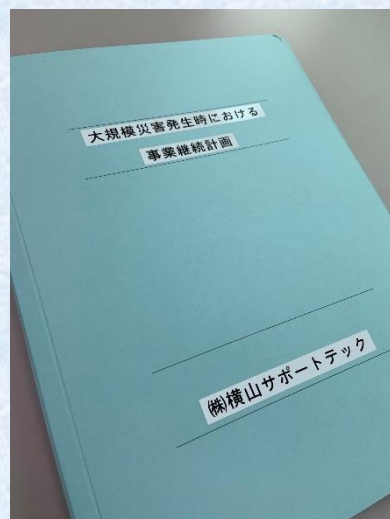
発電電力量は事務所内にてモニターで随時確認できます。

BCP(事業継続計画)の確立

BCP(事業継続計画)とは、企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。

緊急事態は突然発生します。有効な手を打つことが出来なければ、特に中小企業は、経営基盤が脆弱なため、廃業に追い込まれるおそれがあります。また、事業を縮小し従業員を解雇しなければならない状況も考えられます。緊急時に倒産や事業縮小を余儀なくされないためには、平常時から周到に準備しておき、緊急時に事業の継続・早期復旧を図ることが重要となります。

私たち横山サポートテックは兵庫県南海トラフ地震・津波被害想定をもとに緊急時対応マニュアル・災害時初動活動・事業復旧に係る計画をそれぞれ策定し、年1回訓練を行っております。また、安否確認システム(エマージェンシーコール)を導入し、災害発生時の従業員の安全を確認するとともに、災害に対応する要員を確保します。

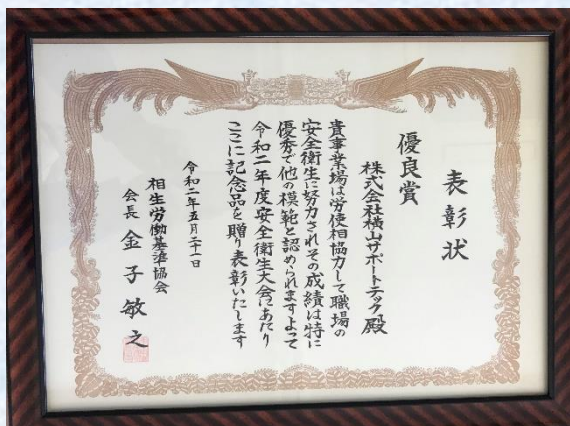


相生労働基準協会「優良賞」受賞

この賞は労働安全衛生大会にて、安全衛生に関する水準が特に優秀であり、他の模範と認められる事業場に贈られるものです。

弊社は同大会で平成28年度にも進歩賞を受賞しております。

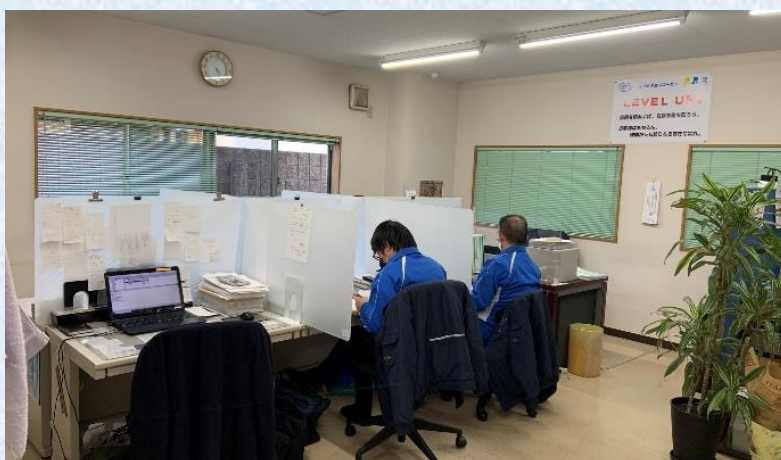
頂いた賞の名に恥じぬよう、今後も安全衛生活動の推進に努めて参ります。



新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

産業廃棄物処理業は、国民の生活環境を保全する重要なインフラであるため社会の安定を維持する観点から、緊急事態措置の期間中にも、最低限の業務の継続が求められています。

弊社も全国産業資源循環連合会策定の新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインに基づき、社内における感染予防対策を検討し、今日も継続して行っております。



緑化活動

グリーンカーテン



夏のエアコン使用によるCO₂排出量を抑える為、ゴーヤを栽培してグリーンカーテンにしております。

この取組みを開始して11年目となりました。取組み7年目より「グリーンカーテンの輪を広げよう!」と、近隣の幼稚園や保育所の園児たちと一緒に苗を植える活動や、発芽した苗をお客様に差し上げるなどの活動も始めました。残念ながら、発芽の悪さや新型コロナウイルス感染拡大防止の為、現在この活動を中断しておりますが、今後も引き続きグリーンカーテンの活動を継続していきたいと思っております。



播磨圏域連携中枢都市事業
『緑のカーテンコンテスト』に応募し
4年連続『優秀賞』を受賞しました。

構内緑化活動



季節に応じて花壇の手入れや玄関周りの花を整備しております。

花壇では春にはネモフィラのお花畑、夏には元気いっぱいひまわりなど、弊社を訪れるお客様に四季折々の花を楽しんで頂いております。

創業60周年目に植樹した桜の木も少しですが花を咲かせてくれるようになりました。

玄関周りには、プランターに花を植え、道行く人々に季節の花を楽しんでもらっております。



ボランティア清掃活動

♡ クリーンキャンペーン

従業員で数人ずつのグループになり、事務所周辺の清掃活動を実施しております。また年1回赤穂港まで足を延ばし清掃活動を行っております。私たちの活動が、ポイ捨ての抑止につながることを願い、今後も可能な限り活動を続けて参ります。



♡ 赤穂クリーンアップ大作戦

毎年5月30日（ごみゼロの日）に「赤穂商工会議所環境衛生・ものづくり委員会」主催の『クリーンアップ大作戦』に参加し、清掃隊員として綺麗な街づくりを目指しています。



♡ 加里屋川清掃

「加里屋川ふるさとの川整備連絡協議会」様主催の清掃活動に毎年従業員とその家族が参加しております。令和2年には主催者様が赤穂市より『さくら賞』を受賞されており、ボランティアの方々と共にこの活動に参加できることを大変嬉しく思います。



♡ 舞子公園清掃

毎年「兵庫県産業循環資源協会青年部」主催の清掃活動に参加しております。2019年は従業員とその家族合計9名が参加しました。海岸沿いで自然に触れながら気持ちの良い活動となりました。



※2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、沢山のイベントや行事が無くなってしまいました。一日も早い収束により活動が再開出来る事を切に願います。

人材育成

◆資格取得支援

従業員が希望する資格取得に係る費用を補助しています。フォークリフト等の作業にかかわる資格から、2019年には新たに「遺品整理士」という資格の取得も支援しました。

◆外部研修への参加

社外での研修にも積極的に参加しています。社外研修後に社内で改めて勉強会を開催し、他の従業員と知識を共有しています。主な研修は下記の通りです。

参加講習会の例

「管理職に求められる役割と心構え」セミナー	「製造現場の5S活動を通じた現場改善」セミナー
「報・連・相」レベルアップ8つの鉄則 研修	電子マニフェスト取扱セミナー
「仕事のスピードと質を高めるセミナー」	電話応対トレーニング研修
電話・来客応対スキルアップ講座	同一労働同一賃金についての講習会
適性診断（初任診断）	ビジネスマナー研修

◆社内勉強会・講習会の開催

各グループごとに、定期的に勉強会を開催しています。その都度従業員で勉強会の内容を考えているため、その時に最適な内容になっております。勉強会を行うことで、より安全・円滑に作業を進めることができます。また、社外から講師を招き、講習を受けることもあります。



◆入社時研修

新しく従業員が入社した際、産業廃棄物の基礎知識や、会社概要の研修を行い、各現場へ配属されます。また、従業員に応じて別研修も行います。入社後必要な時には、社外研修への参加も積極的に促しています。



福利厚生

◆健康診断

従業員の健康管理のため、毎年健康診断を実施しています。健康診断で異常の所見があった労働者に関して、その健康を保持するために必要な措置について医師から意見を聞いています。



◆熱中症対策

夏季期間中、従業員に対して熱中対策水を無償で提供しています。



◆インフルエンザ対策

原則従業員全員接種とし、ワクチン代を補助しています。



◆時間単位有給取得制度

平成30年4月より、1時間単位での有給休暇取得制度を導入しており、社員がより柔軟に有給休暇を取得できるようになりました。

親睦

◆新年会

毎年1月に新年会を開催しています
残念ながら令和3年は新型コロナウイルス感染拡大の防止の為、開催を見送りました。



◆花見の会

平成31年4月初めてお花見を開催しました。従業員とその家族も招いて、楽しいひと時になりました。
この場所は、平成30年12月に行ったボランティア活動「さくらの名所復活大作戦」で植えた桜の周りです。こちらも新型コロナウイルス感染拡大防止の為、2年目の開催を見送りました。次回開催時には桜も大きくなり、きれいな花を咲かせてくれることでしょう。





積替保管許可

2019年水銀使用製品産業廃棄物の積替保管の許可を取得しました。

2017年廃棄物処理法の改正が行われ、水銀廃棄物に関する規制が強化されました。積替保管許可があることで、複数の取引先から排出された水銀使用製品産業廃棄物をまとめて処分場へ運搬することができ、非常に効率的になりました。



テント倉庫の新設

廃棄物の保管容量を増やす為、本社事務所西側にテント倉庫を新設しました。

このテント倉庫は、酸化チタン光触媒膜材を採用しており、汚れた場合は太陽光と雨の力で自浄する、セルフクリーニング機能があります。また、高い透光率を確保している上に室内の温度上昇を抑えることができ、空間内は快適です。様々な種類の廃棄物を安全に保管することができます。



車輛・重機

古くなった車輛・重機を新しいものに更新しています。車輛はより低燃費で環境にやさしいものへ、重機はより使いやすく、作業効率のアップに繋がります。

現在車輛は21台、重機は5台保有しています。



遺品整理士

現代社会の急速な高齢化、核家族化などの社会変化に伴い、遺品整理へのニーズが高まっています。そこで弊社では、遺品整理業務をスタートいたしました。遺品整理士の有資格者が在籍しており、ご遺族の方、故人の方の想いを何よりも大切にしながらお手伝いさせていただきます。



キャッシュレス決済の導入

昨今のキャッシュレス決済利用者の増加を受け、当社でも取り扱いをスタートしました。クレジットカード・QR・交通系にも対応しております。現金の受渡しがないため決済がスムーズになりました。また接触することが少なくなるため、新型コロナウイルス感染拡大の防止対策にも一役買っています。



ロジこんぱすの導入

デジタルタコグラフを刷新し、新しく「ロジこんぱす」を導入しました。GPSで運転手の現在位置を把握できることにより、急な配車変更にも柔軟に対応できるようになりました。また、走行の実績や燃費などの情報を日報で出力できる為、現在紙で作成している運転日報が不要となり、ペーパーレス化を図ることが出来ます。

「持続可能な開発目標（SDG s）」への賛同

SDGsとは、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」の略称で、17の目標と169のターゲットで構成され、2015年9月に、国連で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」として採択された国際目標です。

貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会などの問題解決に向けて国連加盟国に取り組みが求められるとともに、政府だけでなく企業にも主体的に取り組むことが求められています。

当社としても、地域に求められる企業であり続ける事と、地球環境への更なる貢献を目指し、自らの事業とISO14001の活動とともに、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

横山サポートテックが約束する取り組み



1 リサイクル率90%以上を目指します。

当社が中間処理した産業廃棄物の90%以上をリサイクルします。



2 地域の清掃を実施します。

毎月、地域のボランティア清掃を実施します
(クリーンキャンペーン)
毎年、5月30日は「ゴミゼロ運動」に参加し地元企業の皆様と共に地域の清掃を実施します。



3 災害復旧支援を行います。

BCP(事業継続計画)を確立し、災害時の早期事業再開に努めます。
兵庫県産業資源循環協会を通じて、同業者と連携し、災害復旧に貢献します。



4 資格取得支援をおこないます。

従業員が希望する資格取得に係る費用を補助します。
年間教育計画に基づき、個々のスキルアップを図ります。



5 太陽光発電を行います。

中間処理施設の屋根に太陽光発電設備を設置します。



役に立てる喜びが
私たちの
未来への活力です





編集方針

●環境報告書2021は、株式会社横山サポートテックの環境に対する取り組みをまとめたもので、利害関係を有する方々に正確にわかりやすくお伝えする目的で発行しました。

報告対象期間

●2019年3月～2021年2月

本報告書に記載している活動実績については、2019年度及び2020年度の活動を中心に報告していますが、一部それ以前の活動等も含んでいます。

報告時期

●2021年4月



- 表紙の写真（弊社従業員撮影）
- 右：木津ふれあい農園のヒマワリ
- 中央：生島
- 左：弊社グリーンカーテン

株式会社 横山サポートテック

●お問い合わせ先

管理部 管理課

TEL:0791-43-5328（代表） FAX：0791-43-6568

<http://www.yst21.co.jp>